

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社ポプラサポート	代表者	大谷 有紀	法人・事業所の特徴	2021年度もコロナ禍の為、地域イベントへの参加は出来ませんでした。同法人内他事業所と協力して、地域の飲食店などを活用させていただいております。コロナ禍で対応できる地域との繋がりに重点を置いて運営しております。
事業所名	小規模多機能型ぽぷら	管理者	大野 裕介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	10人	0人	0人	11人	人	24人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	申し送りノートをさらに細かく活用し、全員が知らないことが無いようにする、朝礼、終礼で申し送りだけでなく必要時は小さな会議をするような意見交換を実施していく	申し送りノートでスタッフ全員に知らせることができていた ・会議には夜勤、明け、休みのスタッフがいて一部のスタッフは出れなかった	・申し送りノートを活用できた ・パートスタッフの意見やその日の申し送り時間を作りミーティングや終礼に参加できなかった改善ができるといい	・ケース会議案を全員に書いてもらうようにし、パートを含め参加できないスタッフからも必ず意見をもらうようにする
B. 事業所のしつらえ・環境	・飾り物をする事でホールに良い雰囲気と季節感を出す ・乾燥機のゴミのように実施する人やタイミングが曖昧な所に関してルールを定めていく	・申し送りノートを活用できた ・パートスタッフの意見やその日の申し送り時間を作りミーティングや終礼に参加できなかった改善ができるといい	・季節ごとに壁絵作成を継続し外出できてない分、季節を感じてもらいたい ・拭き掃除や消毒の徹底、こまめに手袋を交換できてることはよかった ・テーブルのパーティーションをもう少ししっかりしたものにした	・パーティーションの入れ替えを行う ・フロアの飾りつけは一月ごとに入れ替える
C. 事業所と地域のかかわり	・車の事業所名表記など地域に名前を知ってもらえる工夫を行う ・連絡ノートをよりやり取りしやすい形式にする	・コロナ禍によりイベント等は参加できてないが落ち着いたら実践していきたい	・連絡ノートをあまり見てもらえない家族には電話で連絡をしている ・利用者家族に相談しやすい工夫、送迎時や訪問時に何か困りごとはないか声掛けしていくことが大切だと思う	・事業所のパンフレットを新たに作成し、地域の居宅事業所や商店などに配布する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染対策、リスクを考えた上でできるイベントを実施していく	・地域の行事やイベントの参加は難しいため、事業所内で季節の行事を企画して行っている	・ズームを使ったリモート面会は家族の方に喜んでいただいていた ・コロナの心配がなくなったら地域の行事などに参加するようにする	・地域の行事への参加 ・くろねえ会議への参加

E. 運営推進会議を活かした取組み	管理者以外の職員の運営推進委員会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の活動報告で分かりやすく説明しているつもりである ・意見は改善に繋げるよう受け止めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や家族がどのようなことに関心があるのか意見を聞きながら計画を立てていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段参加が難しそうな家族に ZOOM での参加だったらできないかと呼び掛けてみる
F. 事業所の防災・災害対策	訓練にて出た課題を含め、参加できなかった職員にも細かく情報伝達し、全員が動けるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・年に 2 回以上の防災訓練を行っている ・火災や地震等、新たにマニュアルを作成している 	<ul style="list-style-type: none"> ・年々防災や感染症予防に対して考える機会が多くなった、災害時地域に協力していけるようにしたい 	地震想定避難訓練の実施、マニュアル作成